

令和 8 年 9 月 定例理事会【議事録】

日時：令和 8 年 9 月 28 日(月) 16 時～、会場：小樽港観光船ターミナル多目的ホール

出席理事：西條会長、井上副会長、久末副会長、米山副会長、白鳥理事、橋本理事、
安田理事、山吹理事、徳満専務理事

委任状：高田理事、渡辺理事、山北理事 以上 12 名

欠席理事：鳶村副会長、浅原理事、大塚理事、坂田理事、佐藤理事、斎藤理事、杉本理事、
田中理事、山本理事、谷口理事、 以上 10 名

出席監事：米花監事、伊勢監事

相談役（小樽市長）：代理出席小樽市観光振興室 丸田室長

【審議事項】

1 退会届 ～ 事務局から説明

- ① 旅館 若葉荘 ➡ 1 件の退会が承認された。

2 市営住宅への外国人の入居について ～ 専務理事から先月理事会の経過も含めて説明

(A 理事) 法人で手を挙げることはできるのか？

→ NG と思うが、要望として提案してみ価値はあると思う。

(B 理事) 現状の規定では、申込者の収入基準がネックになってくる。

(C 理事) 収入の最低ラインは？

→ 調べて、来月報告する。

(A 理事) 入居期間の定めは？

→ 特にないと思う。収入が基準を超えれば割増しとなる。

(B 理事) 民間だと保証人が必要になるが？

→ 緊急連絡先の届け出は必須だが、保証人の定めはない。

➡ そのほか質問、意見なく。来月の市長との懇談時の要望についての協議時に検討

3 「市長（副市長）と観光協会（三役）との意見交換会」での要望について

- ・ 専務理事より、日程確認のほか、来月 10 月理事会で取りまとめことや、これまでの要望に対して、実施や前進したものなど紹介

(C 理事) ライトアップ事業などの実施や今後は？

→ （丸田室長）旧小樽倉庫は、臨港線から運河へのライトアップになる。今後については、今年度から 5 ～ 6 年かけて順次準備を進めていく計画で、北運河や暗いと指摘されている花園エリアについても進めていき、回遊性を高めたい。

今年の実証実験は、旧日本郵船の裏側で実施のほか、ワークショップを行っている。

(D 理事) 照明のデザイナーなども活用するのか？

→ （室長）現在、東京のデザイナーも入っている。来年度は基本設計の予定。

➡ そのほか質問、意見なく終了。

4 「青の運河」広告協賛について ～ 専務理事から説明

- ・ 三役を中心に資料の実績事業者へ依頼するが、新規拡大する必要があり、会員向けの依頼のほか、理事からも声掛けや事業者紹介を依頼

➡ そのほか質問、意見なく終了。

5 「Otaru Canal Candle Night -Christmas2026-」について～ 専務理事から説明

- ・ 11 月～1 月に閑散期対策事業として「青の運河」と「ワイングラスタワー」を三役と事務局を中心に継続しているが、さらに現状の閑散期対策事業の 12 月が手薄なため、この 12 月クリスマスシーズン企画について、NEXT100 を中心に運営するが、当協会も共催し支援・協力するよう協議中。

(D 理事) このようなイベントに宿泊税を充てていければよいのでは？

→ (室長) 検討委員会の中で、使途について前向きに考えていきたいし、一定の裁量がある DMO であるコントロールしてもらうのが良いと考えている。

(E 理事) 検討委員会での市の関係は？

→ (室長) 産業港湾部長が委員、観光振興室は事務局

(F 理事) Yummy も大きなイベントに成長したように、このような夜のコンテンツが増えることが、夜観光を発展することにつながる実感がある。

(A 理事) 市中心部の事業者も巻き込んでいくのか？ 協賛金の企業にランタンを貸し出すなど。

→ 良い提案だが 1 回目なので、そこまで準備が間に合わない。

➡ そのほか質問、意見なく終了。

【報告事項】

1 月次報告（観光案内所、物販、外貨両替機）：（9/17 理事に資料メール済）

～ 事務局から概要を説明

～ 特に物販については、シルバーウィークの休みが続いたことと天気にも恵まれ、大変好調だった。

また、改善案の試飲コーナー設置に向けた国税庁の「酒類業振興支援事業補助金」申請について、9.24 国税庁 HP で採択が公表された。現在、交付申請書を準備中であり、交付決定後に改修と試飲サーバー設置を進める。

➡ その他、意見・質問なく終了。

2 後援届について ～ 事務局から説明

① CHAOS MARKET 2026-MUSIC FES-

② otaru スイーツフェスタ 2026

③ 第 20 回 はしご酒大会

④ 第 2 回 おたるポートスクエア蚤の市

⑤ 札幌ニューイヤーコンサート in 小樽

⑥ "北海道"千年の森プロジェクト

⑦ 旧日本郵船株式会社小樽支店 着物ですごす明治の洋館・秋編

⑧ 2026 年レールカーニバル「五感であじわう手宮線の秋」

➡ 8 件の後援依頼件について承認された。(開催日程が間に合わないものは三役会で承認)

3 各事業推進活動状況について ～ 事務局から説明

(A 理事) 新潟テレビは、こちらでは視聴ができない？

→ テレビ放映では視聴できないが、後日 Youtube で配信される。

(B 理事) 船内 PR は効果があるのか？

→ 船内 PR と限定的ではあるが、アンケートや現場にすることで乗客の動きや要望などダイレクトに把握できる。

(B 理事) 観光ガイドブックの広告費について、予想として前年度に比べどうか？

→ 単純比較はできないが、昨年は 2 択だった広告枠を今年は 4 択から選べる。効果は実績で判断される。

➡ そのほか質問、意見なく終了。

4 DMO 事業（事業推進を除く）の進捗について ～ 専務理事から説明

- ・ 7 月理事会で形成連絡会議と議事録や資料の公表を報告したが、その後の進捗や今後の予定
- ・ マーケティング戦略部会の今年度は勉強会(認識共有)が主となるが、早大研究センターのリ・スキリング事業とも連動するほか、北海道観光機構の補助事業「従業員研修（講師派遣型）」を活用し、デスティネーション・マーケティング基礎研修としてマーケティング勉強会を 10 月 13 日に実施
- ・ 夏の来客調査を実施済、秋の来客に加え、事業者と市民アンケートを予定しているが、特に事業者調査については協力を依頼
- ・ 「北海道・東北エリア DMO 観光地域づくりシンポジウム」が 9/14 に初開催され徳満が参加（B 理事）シンポジウムは何人参加？

→ 東北からも参加があり 25 名程度参集。ワークショップなどでネットワーク構築にもつながった。

➡ そのほか質問、意見なく終了。

5 自民党北海道第四選挙区支部移動政調会について ～ 専務理事から報告

- ・ 冬季の交通網、早期の新幹線延伸、中央橋の拡幅、運河散策路の改修を要望

➡ 質問、意見なく終了。

6 高崎高島屋 50 周年記念「小樽の物産と観光展」出店募集について

- ・ 当協会も参画した委員会主催、出店案内を物産協会から行っているが、9/16 現在約 20 社の申込なので、30 社以上の出店とたく、募集要項を会員向けメール済
- ・ 当協会は、観光 PR ブースも展開のほか販促イベントの協力
- ・ 来年度は藤崎百貨店（仙台）の 20 周年記念の拡充も含め、3 年は継続展開を予定（B 理事）ポートマルシェの販売ブース出店予定は？

→ 出店数が少ないようなら、「たるしえ」と役割分担し、地域の商品販売で出店する。

➡ そのほか質問、意見なく終了。

7 CMO・地域おこし協力隊の採用日について：ともに 10 月 16 日付の採用を報告

8 【JR 小樽駅から】冬期除雪作業員募集について

- ・ 冬の小樽観光としても、JR の交通網維持は重要なテーマ、除雪体制の人員確保は必須。周知や紹介の協力を依頼

➡ 質問、意見なく終了。

○ 今後の三役会と理事会等の日程について

- ・ 三役会 令和 8 年 10 月 14 日（水）10 時 協会会議室
- ・ 理事会 令和 8 年 10 月 21 日（水）16 時 中央バス本社 3 階 会議室
- ・ 三役会 令和 8 年 11 月 24 日（火） 10 時 協会会議室
- ・ 理事会 令和 8 年 11 月 25 日（水）16 時 観光船ターミナル 2 F ホール
- ・ 三役会 令和 8 年 12 月 9 日（水）10 時 協会会議室
- ・ 理事会 令和 8 年 12 月 28 日（月）17 時 場所未定

以上で令和 8 年 9 月の理事会は終了した。